

第4次総合計画基本構想(素案)の検討に係る作業部会等の開催経過

作業部会等		案件等	
第3次総合計画の検証	第1回	6月17日(金) 12:45~13:25 (14:15~15:00)	【全体会】 1 第4次総合計画の策定方針について 2 第3次総合計画の検証等の進め方について
	各部検討会議	~7月5日(火)まで	第3次総合計画の検証に係る意見集約
	第2回	7月11日(月) 9:00~12:00	【各部会】 1 第3次総合計画の検証作業
	第3回	7月19日(火) 13:00~17:00	【合同部会】及び【各部会】 1 第3次総合計画の検証作業
第4次総合計画の検証	第4回	8月9日(火) 16:00~17:00	【全体会】 1 第3次総合計画の検証結果について 2 基本構想(素案)の検討の進め方について 3 市民参画の取組について
	各部検討会議	~8月19日(金)まで	基本構想(素案)の検討に係る意見集約
	第5回	8月17日(水) 14:00~16:45	【若手職員を交えてワールドカフェ方式で意見交換を実施】 1 将来像の検討について
	第6回	8月23日(火) 13:00~17:00	【各部会】及び【全体会】 1 将来像の検討について
	第7回	8月31日(水) 13:00~16:00	【各部会】及び【全体会】 1 施策の大綱の検討について
	各部検討会議	~10月7日(金)まで	人口推計及び施策の大綱の検討に係る意見集約
	第8回	9月26日(月) 15:30~17:30	【各部会】 1 人口推計について 2 施策の大綱等の検討について
	第9回	10月26日(水) 9:30~12:00	【各部会】 1 基本構想(素案)まとめ 2 基本計画(素案)の検討に向けて

※上記のほか、作業部会の進め方等について協議を行うため、3回の部会長会議を実施した。
(7月8日、8月9日、8月17日)

【1】基本構想(素案)における「将来像」の検討について

1 将来像の検討経過

(1) 第5回作業部会（平成28年8月17日）

若手職員も含め、ワールドカフェ方式により意見交換を行い、本市の特色や地域資源、今後の方向性の考え方について洗い出しを行った。

(2) 第6回作業部会（平成28年8月23日）

将来像に盛り込むべき視点や示し方等について議論を行った。

2 将来像の考え方

背景

【吹田市のあゆみ】

- ・全国のモデルとなる千里ニュータウンの建設
→高齢化の進んだNTの再生 子育て世帯が多く流入するなど、より魅力が高まってきている
- ・万博の開催
- ・吹田操車場跡地→北大阪健康医療都市
⇒これまでのまちづくりの成果により、現在も人口が増加しており、暮らしやすいまちとして評価を受けているといえる

【地域資源】

- ・みどり豊かで調和のとれた都市空間、高質な生活環境
- ・充実した医療・教育・研究環境と産業集積
- ・歴史と文化、高い市民力 など

【都市宣言】

- ・非核平和都市宣言 ・健康づくり都市宣言 ・安心安全の都市（まち）づくり宣言

今後の課題など

【社会潮流】

- ・少子高齢化の進展や産業・雇用構造の変化
- ・高度経済成長期以降、整備した公共施設等の老朽化への対応
- ・環境問題の深刻化や多発する地震や豪雨などの災害への関心の高まり
- ・ライフスタイルが多様化する中、多様化・高度化する市民ニーズへの対応 など

【市民ニーズ】(H26「市民意識調査」より)

- 多くの市民が優先して実施すべきと考えている分野
 - ・子どもを育てる環境 ・学校教育 ・地震や水害などに対する防災対策
- 多くの市民が抱く「吹田市の望ましい将来像」
 - ・子育てのまち ・福祉のまち ・医療のまち ・安心安全なまち ・住宅環境が整ったまち
 - ・市民の暮らしを支える安定した基盤が整ったまち
⇒あらゆる世代が安心安全で暮らしやすいまち が望まれている

将来像の視点

- ・安心安全：危機管理に関するだけでなく、平和、福祉、子育て、健康などのあらゆる安心
- ・住みやすい（暮らしやすい）：良好な環境、利便性、快適性など
- ・持続可能：将来世代へ本市の良さを受け継ぐ

【2】基本構想(素案)における「施策の大綱」の検討について

1 施策の大綱の検討経過

(1) 第7回作業部会（平成28年8月31日）

作業部会において施策の大綱の内容について議論を行い、その内容を踏まえ施策の大綱の案を作成した。

(2) 第8回作業部会（平成28年9月26日）、第9回作業部会（平成28年10月26日）

施策の大綱について、将来人口推計等も踏まえ、再度、確認・検討を行った。

2 各大綱等の内容に関する主な意見等【第7回作業部会における検討結果】

基本構想(素案)たたき台 (H28.8.8版)における 大綱等	主な意見等
大綱1 【福祉・保健・医療】	○キーワードとして、「健康寿命の延伸」「QOLの向上」。 ○方向性としては、すべての人が住み慣れた地域で安心して、健康に暮らせるまちをつくる。
大綱2 【子育て・教育】	○大綱2をベースに、地域の連携、人材活用、市民自治、公共施設の最適化等の視点を取り入れてはどうか。 ○教育と文化は関係が深い。一方で、都市魅力の中で文化、スポーツを位置付けて議論してきたこれまでの前提がある。
大綱3 【環境】	○「低炭素社会、循環型社会及び生物多様性の保全の実現に向けたまちづくりを推進します」とする。 ○「限りある自然環境の確保」とする。
大綱4 【都市形成】	○「整備、維持」について、適切な維持管理、更新の視点や機能のレベルアップ等の含みも必要。 ○コンパクトシティの一般的な定義は、本市には合わない面があり、どのように示すべきか、立地適正化計画の検討状況等を見ながら確認していく。 ○「都市基盤」や「都市空間」の表現について、都市マスタープランの定義も確認し、検討が必要。
大綱5 【安心安全】	○「あらゆる災害」という表現は、大規模な災害だけが連想される。もう少し日常的で身近な災害対策（火災、救急等）についても盛り込んでいく必要がある。 ○「安心安全」というワードは、災害に限ってのものではなく全ての大綱に関わることなので、大綱5の名称は変更する必要がある。
大綱6 【地域経済・都市魅力】	○組織改正を踏まえると、文化・スポーツを教育に位置付けることには疑問。文化・スポーツについては、都市魅力と教育の両方に入れる方法もあるのではないかと。 ○文化については、教育との関係が強い。

基本構想(素案)たたき台 (H28.8.8版)における 大綱等	主な意見等
基本姿勢1 【人権・市民自治】	○【人権・平和】及び【市民自治】は、あらゆる施策、事業に取り組むに当たって必要な視点ではあるが、一方で、個別の施策、事業も実施しているので、「大綱」にも必要なのではないかと。
基本姿勢2 【行政経営】	○【行財政運営】について、PDCAサイクルの「C」に重点を置いたPDCAサイクル記載をすべき。さらに、「権限移譲」についての追加を検討すべき。 ○【市民サービス】は施策ではないのではないかと。

3 「施策の大綱」及び「まちづくりの基本姿勢」の示し方に関する主な意見等について

- 「基本姿勢」があらゆる取組のベースであるという位置づけなら、「大綱」の前に示すべきではないかと。
- 基本姿勢の位置付けを明確にするべき。また、将来像、基本姿勢、施策の大綱の関連性については、図示する方がわかりやすいのではないかと。
- めざす将来像を実現するために施策の大綱を作るべきであり、基本姿勢に施策がぶら下がるというよりは施策の大綱に施策がぶらさがるとの方が、説明しやすいのではないかと。

【3】基本構想(素案)の検討における第3次総合計画の検証結果の反映状況について

第3次総合計画 施策の大綱		【検証結果】 H28. 8. 8 時点 ※第4次総合計画基本構想に新たに 追加すべき内容等に関する主な意見	【反映状況】 H28. 10. 28 時点 ※第4次総合計画基本構想 (素案)における検討内容
【1章】 すべての人がいきいき 輝くまちづくり	【1節】非核、 平和のまちづくり	すべての施策の基本となる取組であるため、施策体系の位置づけについて検討が必要。	大綱1【人権・市民自治】で位置づけ。また、施策の大綱において分野を超えた連携に取り組むことを明記。
	【2節】人権を 尊重するまちづくり		
	【3節】男女共同 参画のまちづくり	女性活躍の推進、性的少数者への配慮の視点を追加。	大綱1の概念に含め、詳細は基本計画において記載することを検討。
【2章】 市民自治が 育む自立の まちづくり	【1節】コミュ ニティ活動の充 実	広域的なコミュニティ施設のあり方や地域コミュニティ活動の重要性を盛り込むことについて検討が必要。	同上
	【2節】コミュ ニティ施設の充 実		
【3章】 健康で安心 して暮ら せるまち づくり	【1節】すべての 子どもが健や かに育つまち づくり	①子どもの貧困対策に関する取組を追加。 ②「子ども・子育て支援新制度」に関する取組を追加。 ③子育てと教育を1つの分野とする。	①②：大綱4【子育て・教育】の概念に含め、詳細については基本計画において記載することを検討。 ③：子育てと教育を大綱4としてまとめた。
	【2節】高齢者 の暮らしを支 えるまちづく り	地域包括ケアシステムの構築に関する取組を追加。	大綱3【福祉・健康】の概念に含め、詳細については基本計画において記載することを検討。
	【3節】障害者 の暮らしを支 えるまちづく り	①障害者差別解消法（H28.4 施行）に基づく取組を追加。 ②今後はソフト施策においてもユニバーサルデザインの標準化が必要(障がい者施策のみならず他の分野でも必要)。	①②：同上
	【5節】生活を支 える社会保 障の充実	生活困窮者への支援に関する取組を追加。	同上
	【6節】健康な 暮らしを支 えるまちづく り	①「健都」の取組の追加。 ②健康・医療のまちづくりによる健康寿命延伸に関する取組を追加。	①同上 ②大綱3で明記。

第3次総合計画 施策の大綱		【検証結果】 H28. 8. 8 時点 ※第4次総合計画基本構想に新たに 追加すべき内容等に関する主な意見	【反映状況】 H28. 10. 28 時点 ※第4次総合計画基本構想 (素案)における検討内容
【4章】 個性がひかる 学びと文化創造の まちづくり	【1節】学ぶ意 欲と主体性を育 てるまちづくり	子どもの貧困に関する取組を追加。	大綱4【子育て・教育】の概 念に含め、詳細については基 本計画において記載すること を検討。
	【3節】スポー ツに親しめるま ちづくり	健康寿命延伸を目的とした運動の習 慣化など関係部局との連携が必要。	基本計画において検討。
	【4節】多彩な 文化が交流する まちづくり	文化の施策体系への位置づけについ て検討が必要。	大綱7【都市魅力】で位置づ け。
【5章】 環境を守り 育てるまち づくり	【2節】自然と 共生するまちづ くり	生物多様性の保全に関しての北摂各 市との連携が必要。	大綱5【環境】の概念に含め、 詳細については基本計画にお いて記載することを検討。
	【3節】循環を 基調とするまち づくり	低炭素を基調としたまちづくりの視 点を追加。	大綱5で明記。
【6章】 安全で魅力 的なまちづ くり	【1節】安全な まちづくり	地域の防災、防犯力の向上の視点を追 加。	大綱2【防災・防犯】で明記。
	【2節】暮らし や都市活動を 支える基盤づ くり	①「コンパクトシティ」の視点を追加。 ②インフラ「整備」から「更新」へ。 ③「健都」の取組について健康・医療 の分野へ施策の位置づけの変更を検 討（ハードからソフトへ）。 ④都市基盤の整備・維持に関してユニ バーサルデザインや環境への配慮の 視点に加え、防災の視点を追加。	①大綱6【都市形成】の概念 に含め、詳細については基本 計画において記載すること を検討。 ②大綱6で明記。 ③「健都」については、大綱 3【福祉・健康】への位置づ を想定。詳細は基本計画にお いて検討。 ④大綱6で明記。
【7章】 活力あふれ にぎわいの あるまちづ くり	【1節】地域の 特性を生かし た産業の振興	都市魅力を市内外に戦略的に発信。	大綱7【都市魅力】で明記。
	【3節】消費生 活を支える環境 づくり	安心安全の分野に施策を位置づける ことを検討。	大綱2【防災・防犯】への位 置づけを想定。詳細は基本計 画において検討。
基本計画推 進のために	行政構造の改革 ／計画的な行 政運営の推 進	①「公共施設等総合管理計画」の取組 を追加。 ②新公会計制度の活用の視点を追加。 ③持続可能で健全な財政運営の推進。	①大綱8【行政経営】におい て、公共施設最適化について 明記。 ②大綱8の概念に含め、詳細 については、基本計画におい て記載することを検討。 ③大綱8で明記。